

職員による自己評価

A環境面

現在の利用者数や活動内容に充足したスペースである。
室内の活動スペースに段差はない。

B児童への支援内容

利用者のニーズや課題を分析し、特性に配慮した活動をしている。

C関係機関との連携

必要時には連携し情報共有などができる。

D保護者への説明責任・信頼関係

子どもの様子や活動内容を送迎時や連絡帳・メールにて保護者に伝えたり聞いたりし、互いの情報交換ができています。

E非常対応

対応マニュアルの確認や全員避難訓練は実施できている。保護者への周知が不十分などところがある。

保護者による評価

A環境面

活動スペースは十分である。
スロープやエレベータの設置はない。

B児童への支援内容

活動内容は満足している。
地域や他の児童クラブ等との交流機会がない。

C事業所からの情報発信

保護者会の開催はない。
ホームページやお便りなどによる積極的な発信が不十分である。

D非常対応

防災訓練の実施は知っている。

事業所内での分析

【共通点】

- 活動内容に関しては高評価である。
- 連絡帳などにより日頃の情報交換はできているが、ホームページなどによる発信は十分ではない。
- 災害や緊急時・防犯など安全面について訓練は実施しているが、保護者への周知が不十分などところがある。

【相違点】

分析・検討してみて…

事業所の強み

○児童・保護者のニーズに合わせて柔軟に支援できる。

事業所の改善点

- 学校や他の児童クラブ等との情報交換や交流の機会が少ない。
- 災害・緊急時・防犯の周知方法の見直し

事業所の改善への取り組み

- 災害・緊急時・防犯等安全面の見直し、周知徹底
- 学校・関係機関との情報交換
- 職員の専門性を上げる

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

評価結果を客観的に受けとめ、改善すべきところはしっかり取り組みたい。
職員全員が日頃より問題意識を持ち、より良い活動ができるよう努めたい。

事業所名 プレップサポートセンター和田町
担当者 管理者 細谷由夏